

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句11

年 組 氏名

【動物にかかわる慣用句】

<問題>

動物に関する慣用句を学習しましょう。

(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () につままれる。・・・わけがわからずにぼんやりする。
- ② () の歩み。・・・進み具合が遅いこと。
- ③ () の仲。・・・仲が非常に悪いこと。
- ④ () をかぶる。・・・本性を隠しておとなしく見せかけること。
- ⑤ まないたの()。・・・されるがままになるほかに仕方がないこと。
- ⑥ () が知らせる。・・・なんとなくいやな予感がすること。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句11

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (狐) につままれる。・・・わけがわからずにぼんやりする。
- ② (牛) の歩み。・・・進み具合が遅いこと。
- ③ (犬猿) の仲。・・・仲が非常に悪いこと。
- ④ (猫) をかぶる。・・・本性を隠しておとなしく見せかけること。
- ⑤ まないたの (鯉) 。・・・されるがままになるほかに仕方がないこと。
- ⑥ (虫) が知らせる。・・・なんとなくいやな予感がすること。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句12

年 組 氏名

【ア行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「ア行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () がのる。・・・調子が出てはかどる。
- ② () を売る。・・・おだ話をして時間をつぶす。
- ③ () につく。・・・その役割にぴったり合う。
- ④ () 食う。・・・うまくしてやられる。
- ⑤ () をかく。・・・相手が予想しない行動をとる。
- ⑥ () つぼ。・・・予期したとおりになる。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句12

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (脂) がのる。・・・調子が出てはかどる。
 ② (油) を売る。・・・おだ話をして時間をつぶす。
 ③ (板) につく。・・・その役割にぴったり合う。
 ④ (一杯) 食う。・・・うまくしてやられる。
 ⑤ (裏) をかく。・・・相手が予想しない行動をとる。
 ⑥ (思う) つぼ。・・・予期したとおりになる。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句13

年 組 氏名

【カ行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「カ行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () を脱ぐ。・・・降参する。
- ② () がおけない。・・・遠慮する必要がない。
- ③ () に乗る。・・・物事が順調に進む。
- ④ () をさす。・・・前もって念をおしておく。
- ⑤ () をつける。・・・物事に決着をつける。
- ⑥ () を濁す。・・・はっきり言わない。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

短文づくり	
慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句13

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (かぶと) を脱ぐ。・・・降参する。
 ② (気) がおけない。・・・遠慮する必要がない。
 ③ (軌道) に乗る。・・・物事が順調に進む。
 ④ (釘) をさす。・・・前もって念をおしておく。
 ⑤ (けり) をつける。・・・物事に決着をつける。
 ⑥ (言葉) を濁す。・・・はっきり言わない。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句14

年 組 氏名

【サ行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「さ行」から始まります。
 (できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () を投げる。・・・見込みがないとあきらめて、途中でやめる。
- ② 取りつく () もない。・・・相手がひややかで話もできない。
- ③ () を削る。・・・激しく争う。
- ④ () に乗る。・・・調子にのってつけあがる。
- ⑤ () におけない。・・・あなどれない。ぬけめない。
- ⑥ () が合わない。・・・気が合わない。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句14

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (さじ) を投げる。・・・見込みがないとあきらめて、途中でやめる。
- ② 取りつく (島) もない。・・・相手がひややかで話もできない。
- ③ (しのぎ) を削る。・・・激しく争う。
- ④ (囃) に乗る。・・・調子にのってつけあがる。
- ⑤ (隅) におけない。・・・あなどれない。ぬけめない。
- ⑥ (反り) が合わない。・・・気が合わない。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句15

年 組 氏名

【タ行の音で始まる慣用句】

〈問題〉

慣用句を学習しましょう。全て「た行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () を押す。・・・間違いのないことを保証する。
- ② () をくくる。・・・たいした事ないだろうと、見くびる。
- ③ () に上げる。・・・自分にとって不都合なことには触れずにすます。
- ④ () を押す。・・・念のために確認する。
- ⑤ () が合う。・・・筋道が通っている。
- ⑥ () を越す。・・・全盛期を過ぎて、勢いが衰え始める。

〈問題〉①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句15

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (太鼓判) を押す。・・・間違いなことを保証する。
- ② (高) をくくる。・・・たいした事ないだろうと、見くびる。
- ③ (棚) に上げる。・・・自分にとって不都合なことには触れずにすます。
- ④ (だめ) を押す。・・・念のために確認する。
- ⑤ (つじつま) が合う。・・・筋道が通っている。
- ⑥ (峠) を越す。・・・全盛期を過ぎて、勢いが衰え始める。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句16

年 組 氏名

【ナ行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「な行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () が立つ。・・・平穏な生活や状態が破られる。
- ② () を飲む。・・・悔しさをこらえる。勝負に負ける。
- ③ () きらない。・・・はっきりしない。
- ④ () 衣。・・・無実の罪。
- ⑤ () をあげる。・・・我慢しきれずに、弱気なことを言う。
- ⑥ () に腕押し。・・・相手の態度に手ごたえのないことのととえ。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句16

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (波風) が立つ。・・・平穏な生活や状態が破られる。
- ② (涙) を飲む。・・・悔しさをこらえる。勝負に負ける。
- ③ (煮え) きらない。・・・はっきりしない。
- ④ (ぬれ) 衣。・・・無実の罪。
- ⑤ (音) をあげる。・・・我慢しきれずに、弱気なことを言う。
- ⑥ (のれん) に腕押し。・・・相手の態度に手ごたえのないことのとえ。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句17

年 組 氏名

【ハ行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「は行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () をきかせる。・・・思いのままに勢力をふるう。
- ② () の車。・・・経済状態が非常に苦しいこと。
- ③ () の引き倒し。・・・優遇しすぎてかえってその人の迷惑になる。
- ④ () が寂しい。・・・所持金がとぼしい。
- ⑤ () に振る。・・・それまでの努力や苦労を無駄にする。
- ⑥ () を出す。・・・隠していた欠点や短所が現れる。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句17

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (幅) をきかせる。・・・思いのままに勢力をふるう。
- ② (火) の車。・・・経済状態が非常に苦しいこと。
- ③ (ひいき) の引き倒し。・・・優遇しすぎて、かえってその人の迷惑になる。
- ④ (懐) が寂しい。・・・所持金がとぼしい。
- ⑤ (棒) に振る。・・・それまでの努力や苦労を無駄にする。
- ⑥ (ぼろ) を出す。・・・隠していた欠点や短所が現れる。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句18

年 組 氏名

【マ行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「ま行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () がさす。・・・ふと悪い考えをおこす。
- ② () が抜ける。・・・ばかげている。タイミングが悪い。
- ③ () を結ぶ。・・・苦勞したことが成功してよい結果が生まれる。
- ④ () に流す。・・・これまでのことをなかったことにする。
- ⑤ () を向ける。・・・相手の気持ちをおある方向へと誘う。
- ⑥ () とった杵柄。・・・以前に鍛えておいた得意の技術。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句18

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (魔) がさす。・・・ふと悪い考えをおこす。
- ② (間) が抜ける。・・・ばかげている。タイミングが悪い。
- ③ (実) を結ぶ。・・・苦勞したことが成功してよい結果が生まれる。
- ④ (水) に流す。・・・これまでのことをなかったことにする。
- ⑤ (水) を向ける。・・・相手の気持ちをおある方向へと誘う。
- ⑥ (昔) とった杵柄。・・・以前に鍛えておいた得意の技術。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

[慣用句シリーズ パートⅡ] 慣用句19

年 組 氏名

【ヤ行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「や行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () を張る。・・・万一の的中をあてにして何かをする。
- ② () も () もたまらず。・・・思いつめてがまんでできない。
- ③ () に水。・・・少しくらいの支援では全く効き目がない。
- ④ () にあげる。・・・非難、攻撃の対象にする。
- ⑤ () を引く。・・・反抗する。そむく。
- ⑥ () を押す。・・・無理なことを押し通す。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句19

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (山) を張る。・・・万の的中をあてにして何かをする。
- ② (矢) も (盾) もたまらず。・・・思いつめてがまんでできない。
- ③ (焼け石) に水。・・・少しくらいの支援では全く効き目がない。
- ④ (槍玉) にあげる。・・・非難、攻撃の対象にする。
- ⑤ (弓) を引く。・・・反抗する。そむく。
- ⑥ (横車) を押す。・・・無理なことを押し通す。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句20

年 組 氏名

【ラ・ワ行の音で始まる慣用句】

<問題>

慣用句を学習しましょう。全て「ら行・わ行」から始まります。
(できるだけ漢字で書きましょう。わからなければ、ひらがなでもかまいません)

- ① () があかない。・・・はかどらず、決着がつかない。
- ② () をおよぼす。・・・迷惑をかける。
- ③ () と化する。・・・興奮や熱狂の状態が非常に高まる。
- ④ () に合わない。・・・損になる。
- ⑤ () をかける。・・・さらに程度が大きくなる。
- ⑥ () のように疲れる。・・・体中の力が抜けて、ぐったりする様子。

<問題>①～⑥のいずれかの慣用句を使って、短文を作りましょう。

短文づくり

短文づくり	
慣用句	
短文	

〔慣用句シリーズ パートⅡ〕 慣用句20

年 組 氏名

学習するみなさんへ：

慣用句の意味を理解し、使えるようになりましょう。①～⑥の慣用句や、自分で調べた慣用句を使って、短文を作ってみよう。

解答

- ① (らち) があかない。・・・はかどらず、決着がつかない。
- ② (累) をおよぼす。・・・迷惑をかける。
- ③ (るつぼ) と化する。・・・興奮や熱狂の状態が非常に高まる。
- ④ (割り) に合わない。・・・損になる。
- ⑤ (輪) をかける。・・・さらに程度が大きくなる。
- ⑥ (綿) のように疲れる。・・・体中の力が抜けて、ぐったりする様子。

慣用句は、意味を覚えるというのではなく、使い方を覚えるといいですよ。他の慣用句でも短文づくりに挑戦すると、より学習が深まります。

短文づくり

慣用句	
短文	